

新入生歓迎会

12日（金）、生徒会の企画・運営による新入生歓迎会を行いました。新1年生に中学校での生活をよく知ってもらうために、1日の生活をスライドで紹介するとともに、各部が活動内容を紹介しました。力の入った上級生の部活動紹介に1年生は目を奪われていました。4月中に仮入部体験を行い、5月から正式入部となります。1年生の活躍を期待しています。



常澄中での生活について



部活動紹介



部活動紹介



お礼の言葉

飛田穂洲（とびたすいしゅう）について

常澄地区は、「学生野球の父」と呼ばれる飛田穂洲の出身地です。1886年、東茨城郡大場村で生まれた穂洲は、水戸一高卒業後、早稲田大学法学部に進み野球を始め、内野手として活躍しました。その後、編集者、学生野球の指導者、野球評論家などの活動を行い、学生野球の普及・発展に尽力しました。穂洲が残した有名な言葉に「一球入魂」があります。また、「飛田穂洲先生のご遺徳を偲び、野球を通して中学生の体力の養成に努め、心身ともに健全な人間づくりを行うとともに、中学生の親睦を図る」という目的のもと、飛田穂洲旗中学生野球大会が毎年4月はじめに開催されています。この歴史的な大会に常澄中学校は毎年参加させていただいています。

【飛田穂洲旗第32回中学校野球大会で3位入賞】

その飛田穂洲杯で本校は見事3位に入賞しました。4月6日に行われた1回戦で瓜連中に逆転勝ちし、2回戦では本大会優勝候補の水戸四中に5－4で勝ち準々決勝に進出。水戸二中に7－3で勝利し、13日の準決勝に進出。本大会優勝校となった八郷中に大接戦の末2－3で惜敗しましたが、総体での更なる活躍につながる大きな足跡を残すことができました。



